県産野菜等の活用拡大に向けた次年度の取組方向

これまでの取組

推進体制整備

「富山県加工業務用野菜等供給拡大推進協議会」の設置（H22 年 6 月）（構成：外食・中食事業者、流通業者、生産者代表、大学、県機関等）

ＰＲ・情報発信（県内）

●活用検討会
●現地見学会
●活用講習会
●各種イベントでのＰＲ　等

(H22～23 年)

県産野菜等への一定の理解が醸成

富山県産野菜・果実の活用拡大月間（8 月）

(H23 年)

大手ホテル等 38 店舗が参加し、一定の評価

ホームページの開設

(H23 年 7 月)

情報発信体制の整備

加工業務用園芸作物栽培技術の確立

●生産技術実証ほの設置　(H22～23 年)
・新規導入品目（ﾗｽﾞﾍﾞﾘｰ、ﾁｺﾘ等）の試作
・冬期間出荷（寒締めﾎｳﾚﾝｿｳ、雪下ｷｬﾍﾞﾂ等）を目的とした技術開発

寒締めﾎｳﾚﾝｿｳ、ﾗｽﾞﾍﾞﾘｰ等の栽培ﾏﾆｭｱﾙを作成

課　題

●実需者と生産者とのﾏｯﾁﾝｸﾞや PR の強化。

●メニュー開発と一体となった更なる活用促進とＰＲが必要。

●期間の延長、活用食材の拡充やＰＲの強化等の要望。

●継続した情報発信や内容の充実が必要。

●「富山ならでは」の食材への強い要望。（品目を重点化した栽培技術確立）

今後の取組

◎県産野菜等の活用

県産野菜等の活用マッチング推進

●食材マッチングプロモーション会の開催
●県産野菜等活用展示ＰＲ会の開催

とやまの野菜・果実活用店舗の募集・ＰＲ

●「とやまの野菜・果実活用店舗」の募集
●活用推進期間の設定

主な活用品目候補

●活用食材メニューの把握とＰＲ
●量販店等での食材、メニューのＰＲ

活用店舗のぼり旗（例）

ホームページ（あぐリンクとやま）の充実

●活用メニューの紹介、活用推進期間等のページ追加　等

◎ 新たな県産野菜等の開発

●品目選定会議の開催
●生産技術実証ほの設置
●栽培研修会の開催　　等